

【坂田和子】

私は長年教師をやってきた。田中耕太郎という人物は、戦後、文部大臣もやり、教育勅語を大事にしろとか道徳教育の復活にも大きな役割を果たすなど、教育の方面でもとんでもない人であった。戦前戦後を通じ一貫して反共主義というか、そこは本当に曲げない人で、砂川最高裁判決と、法廷の外でやっていることは雑音だと思えということを行った松川事件裁判、これは全部つながっているんだろうと思う。

私はいま大学で教えているが、驚いたことに国立大学の教育学部学生が、ほぼ選挙に行こうと思っていないか、行こうと思うんだけど全然分からないという。主権者教育をやっていないのは先進国で日本だけといってもいい。それが投票率の低下につながっている。もっと早くから主権者教育をしなくてはいけない。

ところが、学生が影響を受けている麻生太郎氏の講演動画を見てみると、日本の若い人が選挙に関心がないというのは日本は安定しているいい国だからで悪いことじゃない、大変な国では政治に関心を持たざるを得ないんだよと言っているのびっくりした。これから教職に就いて子供たちに教えていくかもしれない教職課程の学生たちが今のような状態では、本当にみんな何も分からなくなるし、選挙に行かなくなると思う。私は、今、日本は大変なことになっていますよという資料をたくさん出して、明日講義をやる予定だ。



【土屋源太郎】

基地に入った7月8日がもうじき来る。

23歳を間もなく迎える22歳、大学5年生だった。本当に青春時代だった。砂川闘争の現地であれだけ闘えたこと、今もいろいろ思い浮かぶ。ああ、やってよかったなど、今でも本当に思っている。当時約30人ぐらいの仲間のうち、半分ぐらいの方がもう亡くなり残念だし寂しい。でも今、こんなに多くのいろんな人が応援してくれる。これが私の何よりも大きな力になっている。何といっても皆さん一人一人の声援、一人一人の協力、これが私の力の源泉だ。

この国家賠償請求訴訟も、まだまだ2回や3回で終わるような話じゃなくなってきた。武内先生を中心とした先生方の知恵と皆さんの応援に助けられてきた。今日もこれだけの人がいるということは、裁判長にとっても無視はできない。大勢の皆さんから絶えず御支援いただいていることに、本当に感謝感激だ。